

◆ 講師紹介

むらかみ しんじ
村上 伸治 氏

岡山大学医学部を卒業後、同大学助手、川崎医科大学講師を経て、2019年より川崎医科大学精神科学教室准教授を務める。専門は青年期精神医学。著書に、『実戦 心理療法』、『現場から考える精神療法 うつ、統合失調症、そして発達障害』（共に日本評論社）がある。昨年6月には『発達障害も愛着障害もこじらせない』（日本評論社）を出版。また、監修として、『大人の愛着障害—「安心感」と「自己肯定感」を育む方法』（大和出版）、編著として『大人の発達障害を診るといふこと—診断や対応に迷う症例から考える』（医学書院）など多数の著書・監修本がある。

ひえしま しげと
比江島 誠人 氏

宮崎医科大学を卒業、同大学病院精神科、宮崎県立富養園、肥前精神医療センター（アルコール・薬物病棟医長）、琉球病院、等を経て、2018年医療法人横田会向陽台病院勤務、2020年より同病院院長。熊本県精神保健福祉センター依存症相談員、熊本県中央児童相談所嘱託医、熊本ダルク理事、九州アルコール関連問題学会長、熊本アルコール関連問題学会長などを務めている。向陽台病院では救急病棟・児童病棟でアディクションの治療に携わっている。精神保健指定医、精神保健判定医、精神科専門医・指導医、子どものこころ専門医。

おはら ともゆき
小原 知之 氏

九州大学医学部を卒業後、同大学病院や関連病院での研修を経て、2007年に九州大学大学院医学研究院病態医学専攻博士課程入学。2011年九州大学大学院医学研究院精神病態医学助教に就任。その後ハワイ大学医学部老年科研究員を経て、2020年九州大学病院精神科神経科講師、2025年より九州大学大学院医学研究院精神病態医学准教授を務める。福岡県久山町における疫学調査において、うつ病、または認知症と生活習慣病との関係について研究するなど、主に老年期精神障がい診断と治療に携わっている。

やまぐち ゆみこ
山口 由美子 氏

二男一女の母。元洋裁専門学院教師。1985年、子育てに悩んでいた際に塚本達子氏主宰の「幼児室」に通い始める。2000年、西鉄高速バスジャック事件に遭遇して重傷を負い、同行していた塚本氏を亡くす。事件後、佐賀市内にて仲間と共に不登校の親の会「ほっとケーキ」を立ち上げ代表に就任。その後、同会を母体として子どもの居場所「ハッピービバーク」を開設した。2005年には医療少年院にて加害少年と面会。翌年からは佐賀少年刑務所にて月1回の講話を開始し、現在も継続している。2015年、九州大学大学院統合新領域学府ユーザー感性学専攻を修了し、子どもの感性について学ぶ。2024年には、『再生～西鉄バスジャック事件からの編み直しの物語』を出版。

受講料または年会費の振込先

金融機関 福岡銀行 箱崎支店
口座番号 普通預金 0185138
口座名義人 福岡県精神保健福祉協会 楯林英晴（たてばやしひではる）

受講申し込み・お問い合わせ先

福岡県精神保健福祉協会事務局 前川・清水
〒816-0804 春日市原町3-1-7
電話・FAX 092-584-8720
E-mail seishinhoken-fkf@cap.bbiq.jp

主催 福岡県精神保健福祉協会、福岡県精神保健福祉センター
共催 福岡県教育委員会、(一社)福岡県精神科病院協会、福岡県地域精神保健協議会
福岡県地域精神保健(福岡・北九州・筑豊・筑後)ブロック協議会
後援 (独)福岡県産業保健総合支援センター

世代を超えたメンタルヘルスの理解と支援～誰もが孤立しない社会へ～

現代社会の急速な社会情勢の変化は、人々の心身に様々な影響を及ぼしています。近年のSNSなどの普及により、さまざまな形でのつながりや交流が増える一方、リアルな他者とのつながり方や社会参加のあり方も変化し、孤立を深め、不調に陥る方も多く存在しています。

小児期から老年期までの幅広い年代の多様なメンタルヘルスの問題に早期に気づき、適切な支援を行うには、医療・保健・福祉・教育・労務関係者等が連携し、包括的に支援していくことが必要です。

そこで今回、メンタルヘルスに課題を抱える様々な世代の方への支援について、第一人者である4名の先生方をお招きし、ご講演いただくこととしました。皆様のご参加をお待ちしております。

令和8年6月 福岡県精神保健福祉協会会長 中尾 智博
福岡県精神保健福祉センター所長 楯林 英晴

実施日

ライブ配信又はオンデマンド配信の両方に受講が可能です。(定員なし)

7/30(木)・7/31(金) Zoomでのライブ配信(質疑応答あり)

8/3(月)～10/4(日) YouTubeでのオンデマンド配信

対象者

医師、保健師、看護師、保育士等の医療・保健・福祉関係者
幼・小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭、大学教員等の教育関係者
企業などの人事・労務担当者、労働基準監督署等の労働機関関係者
その他この問題に関心がある方

受講料

福岡県精神保健福祉協会への入会状況により異なります。

- ・協会会員 無料
- ・協会非会員 4,000円 ※振込先は4ページに記載
- ・新規入会 無料(令和8年度年会費 2,000円が必要)

締切日

7/23(木) ※申込締切日以降にライブ配信またはオンデマンド配信の視聴を参加希望される場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。なお、最終受付は9月18日(金)までとさせていただきます。

プログラム

《1日目》

7 月 3 0 日 (木)	9:15~	Zoom入室開始	
	9:45~	オリエンテーション/開会あいさつ(福岡県精神保健福祉協会会長/九州大学大学院教授 中尾智博)	
	10:00~ 12:15	講演1 発達障害と愛着障害の理解と支援	川崎医科大学精神科学教室准教授 村上 伸治 氏
	13:30~ 15:45	講演2 ネット・スマホ(オンラインゲーム・SNS)依存の理解と対応	医療法人横田会 向陽台病院長 比江島 誠人 氏

《2日目》

7 月 3 1 日 (金)	9:30~	Zoom入室開始	
	10:00~ 12:15	講演3 老年期のうつ病、認知症、睡眠障害を学ぶ	九州大学大学院医学研究院 精神病態医学准教授 小原 知之 氏
	13:30~ 15:45	講演4 不登校・ひきこもりの子どもたちと共に ～子どもも大人も居場所をもとめて～	不登校を考える親の会「ほっとケーキ」 佐賀県不登校の親の会ネットワーク代表 山口 由美子 氏
	15:45~	事務連絡/閉会挨拶(福岡県精神保健福祉センター所長 楯林 英晴)	